

# 第83回

# 日本農業教育学会大会

## 公開シンポジウム・総会・研究発表会



■ 期日 2025年8月28日(木)～29日(金)

■ 会場 文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-5 (TXつくば駅から約1.1km 徒歩15分)

■ 教育実践等の研究発表(口頭・ポスター)、施設見学(農研機構ジーンバンク)の申込募集中

主催：日本農業教育学会

後援：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源研究センター

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 農学学位プログラム

■ 大会実行委員長：田中 大介(農研機構 遺伝資源研究センター/筑波大学 生命環境系)

■ 公開シンポジウム [8月28日(木) 13:30～17:00 文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場]

参加費：シンポジウムのみ参加される方は無料(先着170名)

テーマ：「農業教育の未来：地域からグローバルまで」

趣旨：農業は持続可能な社会の形成において不可欠な役割を担っています。これからの農業教育は、地域社会との連携を深め、グローバルな視点を持ちながら、スマート農業を含む最新技術を活用した指導方法を確立することが求められます。本シンポジウムでは、農業高校での実践や地域との連携、国際的な教育事例について講師の方々からご紹介いただくとともに、北海道大学のスマート農業教育研究拠点による実践事例を共有します。同大学では、スマート農業を担う人材の育成に取り組んでおり、社会実装を見据えた教育プログラムの開発を進めています。こうした先進的な取り組みを通じて、農業教育に求められる革新性と課題について議論し、より効果的な教育方法を模索します。さらに、パネルディスカッションでは、農業教育が直面する課題と未来の姿について専門家や教育関係者と共に議論を深めます。この貴重な機会を通じて、農業教育の可能性を広げ、未来を築くためのアイデアを共有しましょう。

1. 渡辺 勉(元 秋田県立大曲農業高等学校・校長)

「農業高校での教育プログラムや地域連携の取り組みの紹介」

2. 小出淳司(国際農林水産業研究センター・主任研究員)

「アフリカの農家へ経営コンサルタント視点を導入した実践事例の紹介」

3. 星野洋一郎(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・教授/農水省事業スマート農業教育拠点・代表)

「スマート農業教育の可能性について、最新技術を交えて解説」

4. 田中大介(農研機構遺伝資源研究センター・ユニット長/筑波大学生命環境系・准教授)

「農業生物遺伝資源の教育利用と農業への貢献について考察」

パネルディスカッション：「農業教育の新たな潮流—スマート農業と地域・グローバル連携」